

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330441114	児童音楽 Music for Children	加藤 希央		専門	1	選択	4後期

科目の概要

本科目は「音楽科研究」「音楽科教育法」の学修を基礎とし、小学校音楽科教育と指導のためのより広範な知識と技能を修得することを目的とする。音楽科教育の土台となる西洋音楽史及び日本音楽史、その他多様な世界の音楽や音楽理論に関する基礎的な知識を身につけ、それらに基づく教材研究を行う。また音楽科教育におけるICTの活用についても実践を通し学んでいく。(DP1・2・3)

学修内容	到達目標
① 西洋音楽史、日本音楽史、世界の音楽についての基礎的な知識を身につける。 ② 音楽理論の基礎的な知識を身につける。 ③ 音楽史等に基づき、小学校音楽科教科書に準じた教材の研究を行う。 ④ 教材研究を行うと共に授業を計画し、指導案を作成する。 ⑤ 音楽制作アプリを用いて、楽曲の創作及びアレンジを行う。	① 西洋音楽史、日本音楽史、世界の音楽についての基礎的な知識について説明することができる。 ② 音楽理論の基礎的な知識を理解している。 ③ 音楽史等に基づき、小学校音楽科教科書に準じた教材研究を行うことができる。 ④ 教材研究を行うと共に授業を計画し、指導案を作成することができる。 ⑤ 音楽制作アプリを用いて、楽曲の創作及びアレンジを行うことができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	授業のねらいを理解し、得た知識を活用しながら自主的・主体的に学修を進めることができる。
	働きかけ力	
	実行力	課題や疑問に対し、思考したり調査したりすることを前向きに行うことができる。
考え抜く力	課題発見力	得た知識に対し、深く思考し自ら問いを見つけることができる。
	計画力	
	創造力	知識や理論を基に自分の考えを発想し、ふさわしい手法で表すことができる。
チームで働く力	発信力	自分の考えをまとめ、様々な方法で表し伝えることができる。
	傾聴力	他者の様々な意見を受け止め、自らの考えに反映させたり省みたりすることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	授業におけるルールや課題の提出など、定められた規則を遵守できる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

教育芸術社「小学生の音楽」1～6

他科目との関連、資格との関連

「児童音楽」は、専門科目の教科及び教科の指導法に関する科目に属する。「音楽科研究」「音楽科教育法」等において修得した知識・技能を活用し、音楽科教育のためのより広範な知識の獲得及び教材研究等を行う。
 資格との関連：小学校教諭一種免許

学修上の助言	受講生とのルール
講義で配布するプリントや資料は、各自でファイル等にまとめておきましょう。授業で感じた疑問は、講義時間における発言やコメントシートを活用する等、積極的に質問しましょう。質問等については、講義時間内やメール等でフィードバックしていきます。教育者を目指すことの自覚を持ち、主体的・積極的な授業参加を期待します。	遅刻や欠席、授業開始後の無断入退室はしないこと。課題等の提出期限を守ること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント							
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①								
				②								
				③								
				④								
				⑤								
	平常評価	小テスト		20	①	✓					・第2回から第13回の授業において小テストを行う。	
					②	✓						
					③							
					④							
					⑤							
		レポート		40	①	✓					・レポート（5点×3回） ・指導案（25点）	
					②	✓						
					③	✓						
					④	✓						
					⑤							
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		30	①						・常時活動における創作表現（5点×2回） ・音楽制作アプリを用いた音楽づくり（20点）	
					②							
					③							
					④	✓						
					⑤	✓						
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓				<ul style="list-style-type: none"> ・主体性：授業のねらいを理解し、得た知識を活用しながら自主的に学修を進めることができる。 ・実行力：課題や疑問に対し、思考したり調査したりすることを前向きに行うことができる。 ・課題発見力：得た知識に対し、深く思考し自ら問いを見つけることができる。 ・創造力：知識や理論を基に自分の考えを発想し、ふさわしい手法で表すことができる。 ・発信力：自分の考えをまとめ、様々な方法で表し伝えることができる。 ・傾聴力：他者の様々な意見を受け止め、自らの考えに反映したり省みたりすることができる。 ・規律性：授業におけるルールや課題の提出など、定められた規則を遵守できる。 			
				②	✓							
				③	✓							
				④	✓							
				⑤	✓							
総合評価割合			100									

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀) 小テスト、レポート、各発表、指導案、積極的な授業参画等を総合し、90点以上が取得される。</p> <p>A (優) 小テスト、レポート、各発表、指導案、積極的な授業参画等を総合し、80点～89点が取得される。</p>	<p>B (良) 小テスト、レポート、各発表、指導案、積極的な授業参画等を総合し、70点～79点が取得される。</p> <p>C (可) 小テスト、レポート、各発表、指導案、積極的な授業参画等を総合し、60点～69点が取得される。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	○オリエンテーション ・受講ルールの確認や授業の流れについて等 ○音楽の歴史	・講義 ・演習	・受講ルールを理解している。 ・授業内容を理解しプリントに記述することができる。	予習：シラバスで授業の流れを確認する。 復習：授業内容を振り返り、プリントにまとめる。	90	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
2	○常時活動 ○西洋音楽史①古代ギリシア	・小テスト ・講義 ・演習 ・グループワーク	・常時活動において、主体的、自発的な表現ができる。 ・本授業における西洋音楽史の流れを理解し、教材研究を行うことができる。	予習：指定された学修曲を聴き、設問について調べてくる。 復習：授業内容を振り返り、プリントにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	○常時活動 ○西洋音楽史②古典派	・小テスト ・講義 ・演習 ・グループワーク	・常時活動について、主体的、自発的な表現ができる。 ・本授業における西洋音楽史の流れを理解し、教材研究を行うことができる。	予習：指定された学修曲を聴き、設問について調べてくる。 復習：授業内容を振り返り、プリントにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	○常時活動 ○西洋音楽史③ロマン派	・小テスト ・講義 ・演習 ・グループワーク	・常時活動について、主体的、自発的な表現ができる。 ・本授業における西洋音楽史の流れを理解し、教材研究を行うことができる。	予習：指定された学修曲を聴き、設問について調べてくる。 復習：授業内容を振り返り、プリントにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	○常時活動 ○西洋音楽史④現代	・小テスト ・講義 ・演習 ・グループワーク ・ディスカッション	・常時活動について、主体的、自発的な表現ができる。 ・本授業における西洋音楽史の流れを理解し、教材研究を行うことができる。	予習：指定された学修曲を聴き、設問について調べてくる。 復習：授業内容を振り返り、プリントにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	○常時活動（発表） ○楽譜の歴史	・小テスト ・講義 ・演習 ・グループワーク	・常時活動について、主体的、自発的な表現ができる。 ・楽譜の歴史の流れを理解し、レポートにまとめることができる。	予習：ここまで学んだ西洋音楽史について復習しておく。 復習：授業内容を振り返り、レポートを作成。提出する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	○常時活動 ○音楽理論① ○日本音楽史①	・小テスト ・講義 ・演習 ・グループワーク	・常時活動について、主体的、自発的な表現ができる。 ・本授業における日本音楽史の流れを理解し、教材研究を行うことができる。	予習：指定された学修曲を聴き、設問について調べてくる。 復習：授業内容を振り返り、プリントにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	○常時活動 ○音楽理論② ○日本音楽史② ○世界の音楽①	・小テスト ・講義 ・演習 ・グループワーク ・ディスカッション	・常時活動について、主体的、自発的な表現ができる。 ・本授業における日本音楽史の流れ及び世界の多様な音楽について理解し、教材研究を行うことができる。	予習：指定された学修曲を聴き、設問について調べてくる。 復習：授業内容を振り返り、プリントにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	○常時活動 ○音楽理論③ ○世界の音楽②	・小テスト ・講義 ・演習 ・グループワーク ・ディスカッション	・常時活動について、主体的、自発的な表現ができる。 ・本授業で取り上げた世界の多様な音楽について理解し、教材研究を行うことができる。	予習：指定された学修曲を聴き、設問について調べてくる。 復習：授業内容を振り返り、プリントにまとめる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	○常時活動(発表) ○音楽理論④ ○世界の音楽教育	・小テスト ・講義 ・演習 ・グループワーク ・ディスカッション	・常時活動について、主体的、自発的な表現ができる。 ・本授業で取り上げた各国の音楽教育について理解している。	予習：指定された学修曲を聴き、設問について調べてくる。 復習：授業内容を振り返り、レポートを作成。提出する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	○常時活動 ○音楽理論⑤ ○ICTの活用①音楽制作アプリの活用法	・小テスト ・講義 ・演習 ・グループワーク ・ディスカッション	・常時活動において、主体的、自発的な表現ができる。 ・音楽制作アプリの活用法を理解し、試作を行うことができる。	予習：指定された学修曲を聴き、設問について調べてくる。 復習：授業内容を振り返り、プリントにまとめる。音楽制作アプリの操作法を復習しておく。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	○常時活動 ○音楽理論⑥ ○ICTの活用②音楽制作アプリを用いた音楽づくり	・小テスト ・講義 ・演習 ・グループワーク	・常時活動において、主体的、自発的な表現ができる。 ・音楽制作アプリの活用法を理解し、教材研究と合わせて制作を行うことができる。	予習：音楽制作アプリの操作方法を確認しておく。 復習：授業内容を振り返り、プリントにまとめる。音楽制作アプリでの制作を進める。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	○常時活動 ○音楽理論⑦ ○ICTの活用③音楽制作アプリを用いた音楽づくり(アレンジ)	・小テスト ・講義 ・演習 ・グループワーク	・常時活動において、主体的、自発的な表現ができる。 ・音楽制作アプリの活用法を理解し、教材研究と合わせて制作を行うことができる。	予習：音楽制作アプリの操作方法を確認しておく。 復習：授業内容を振り返り、プリントにまとめる。音楽制作アプリでの制作を進める。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	○ICTの活用④音楽制作アプリを用いた音楽づくり(発表)	・成果発表 ・グループワーク ・ディスカッション	・音楽制作アプリで制作した作品の発表を行うことができる。	予習：音楽制作アプリを用いた作品を発表できるように準備しておく。 復習：授業内容を振り返り、レポートを作成、提出する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	【オンライン授業】 ○「児童音楽」のまとめ	・講義 ・演習	・教育現場における音楽と、社会における音楽との接続を実感し、それを説明することができる。	予習：これまでの授業内容について、配布プリントを基に振り返っておく。 復習：指定された課題についての指導案を作成し提出する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力